

2022年度第4回7月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2022年7月

2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催

3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子
	委員	若井明香
	委員	佐子達仁

4. 議 題

(1) 「Dear Woman」～ポーランド通信～ 毎週水曜 13:30～(15分間)
4月13日・5月25日・6月29日放送分

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「Dear Woman」～ポーランド通信～

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：女性の女性による女性のためのコーナー。このうちポーランド通信は、宇都宮市出身でポーランドに留学中の方に出演してもらい、ポーランドの文化や体験談、ウクライナ情勢などを伝えてもらっている。

各委員からは、

- ユニークで興味深い企画。軽やかな掛け合いが心地よく感じ、対話の仲間に入りたくなるような気分。テレビの映像に左右されがちな現場の情報や印象とは一味違った空気を感じ、ラジオの魅力に改めて気付かされた。
- 昼の時間帯に明るく爽やかな女性2人の話はテンポもよく、前向きになれる。初めに簡単な出演者の情報があるとよかった。ウクライナの隣国であるポーランドの話は、栃木県での例え話で話してくれたのがわかりやすく親近感が持てた。テレビやネットのニュースでは知ることができない「生の情報」を聴くことができたのはとても良かった。
- ポーランドの文化や風習が身近に感じられて親近感が持てる番組。ウクライナから避難されている人々の様子や受け入れ側のポーランド市民の方たちの想いや様子が窺い知れた。継続して放送してほしい。
- 出演者の声はクリーンでポーランドの情勢を知ることができたが、コーナーコンセプトを考えると、もう少し明るい情報をメインにした方が良いのではないか。食べ物情報も味がイメージできるような伝え方や栃木県内のポーランド料理店などの紹介があればよかった。
- ウクライナの隣国ポーランドでの避難民の様子や支援の情報が伝えられタイムリーな企画だった。ポーランドの文化も興味深く聴くことができた。女性の活躍を紹介するコーナー趣旨とするともう少し出演者の情報があってもよかったのではないか。女性のための情報という面からは、観光や工芸品などの情報をもっとあってもよかった。
- 女性の活躍を紹介する視点からも素晴らしい番組。現地の文化などは元よりポーランドに避難された方々の様子も多く紹介され、コロナ渦でなかなか進められない国際交流につながるものと考えられる。
- ポーランドの役割が注目される中、最前線の話のアナウンサーが巧みに引き出していたことが印象深かった。まだ海外渡航も難しい中で海外在住者の現地レポートはニーズが多いと感じる。このような内容をスピンアウトさせ

て番組を企画するのも良いのではないか。

○意欲的な女性を取り上げるのは良いと思う。出演者のハイテンションがそのまま音となってしまう、もう少し落ち着いて話してもらえると聞きやすかった。番組趣旨が「女性が喜ぶ情報」が「子ども連れでも入りやすいお店やファッション、美容など」とあったのは女性に対する画一的な見方だと残念に思う。女性の成長に役立つ情報を発信していけると、昔ながらの女性向け番組から脱皮できるのではないか。

○日常生活からウクライナ問題まで話題が展開されているが、暗い気持ちにならずに、忘れてはいけない問題を提起されていることは、ラジオでも感じ取ることができた。世界に目を向けることができるような感じで、女性ならではのやり取りにあっという間だった。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(2022年8月7日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2022年9月18日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2022年9月18日～)

以上